

第18回 パネル展と講演会

大正ロマン、昭和レトロのモノがたり —消え去った風景、忘れられた施設—

かつてどこにでも見られたけれど、気が付くとなくなってしまった大正・昭和の風景や産業遺産を取り上げてパネルで紹介します。これらのモノや風景と一緒に、私たちは、かつての昭和大正時代にあったぬくもりや人とのつながりなど大切なものも捨て去ったかもしれません。懐かしい街の風景や大正・昭和の暮らしから、便利になりすぎた現代の生活を見直し、今に活かしたい。



チンチン電車



駄菓子屋



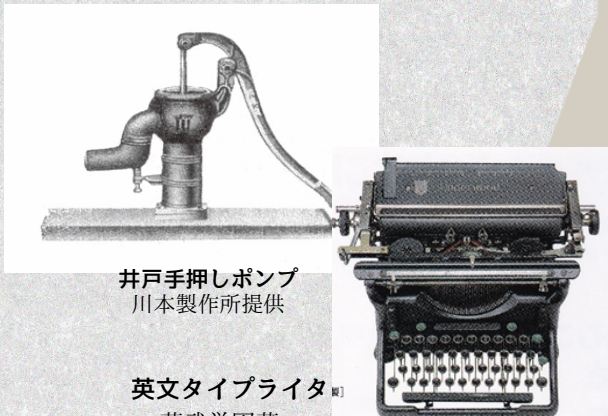
常滑の煙突群



ガラ紡水車



ラジオ塔



井戸手押しポンプ
川本製作所提供

英文タイプライター
菊武学園蔵

■ パネル展 入場無料

開催日：2024年1月30日（火）～2月18日（日）

休館日：2月5日（月）、2月13日（火）

会場：名古屋都市センター11階まちづくり広場

■ 講演会 入場無料

開催日：2024年2月4日（日）13:00～16:30

会場：名古屋都市センター11階まちづくり広場内ホール

講演：昭和日常博物館の展示や、ラジオの歴史や見方についての話のほか、大正琴の調べの演奏やお話をお楽しみ頂きます。（詳細裏面）

主催：中部産業遺産研究会

共催：公益財団法人 名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター

後援：愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会

大正ロマン、昭和レトロの世界へどうぞ

中部産業遺産研究会のパネル展・講演会

■パネル展示 常時開催中

I 街の風景

- ・ チンチン電車、流線形電車、消防ポンプ車、井戸手押しポンプ、木柱、舂、鳴海球場、天然プール、運河利用、実用自転車、ガス灯、人力車など

II 仕事の風景

- ・ ガラ紡、水車、鋸屋根、製麺機、鍛冶屋、だるま窯、タイプライター、煙突のある風景（常滑）、トロンメル、ガリ版など

III 暮らしの風景

- ・ 大正琴、幻燈、ラジオ塔、街頭テレビ、小型映画、マッチ二股ソケット、タイル、電球交換所、回り舞台など

IV 大正ロマン、昭和レトロの博物館

- ・ 昭和日常博物館、タイプライター博物館、名古屋郷土二輪館、大正琴博物館、レトロでんしゃ館、名古屋陶磁器会館、日本ラジオ博物館

■講演会 入場無料

開催日：2024年2月4日（日）13:00～16:30

講演内容：

- ・ 名古屋生まれの大正琴ものがたりー大正琴の誕生と普及ー
金子敦子氏（元名古屋芸術大学教授、芸術文化学博士）
- ・ 昭和日常博物館の展示
市橋芳則氏（昭和日常博物館学芸員）
- ・ 真空管ラジオの歴史と見方
渡辺治男氏（中部産業遺産研究会会員）

- 会期中、土曜・日曜（2月4日を除く）の13:30～15:30に、
会場でガリ版印刷の体験ができます。

名古屋都市センターアクセス

□会場へのアクセス

JR・名鉄・地下鉄名城線「金山総合駅」南口
から徒歩1分

□問い合わせ先

中部産業遺産研究会 パネル展幹事大橋公雄

TEL 052-876-0337

メール ohashi2014@mf.ccnw.ne.jp

